

令和3年度第1回蒲郡市総合教育会議 会議録（要旨）

開催日時	令和3年8月19日（水）午後1時30分から午後3時まで
開催場所	蒲郡市役所5階 庁議室
出席者	<p>蒲郡市長 鈴木 寿明 蒲郡市教育委員会 教育長 壁谷 幹朗 教育長職務代理者 渡辺 充江 委員 石渡 篤史 委員 水藤 頼利 委員 稲葉 千穂子</p> <p>【オブザーバー】 企画部 部長 大森 康弘 総務部 部長 平野 敦義 教育委員会教育部長 嶋田 丈裕</p> <p>【説明者】 教育委員会学校教育課長 小澤 良充 教育委員会庶務課長 柴田 剛広 教育委員会生涯学習課長 三浦 次七郎 教育委員会スポーツ推進課長 磯貝 友宏</p> <p>【事務局】 企画部企画政策課長 成瀬 貴章 企画部企画政策課課長補佐 伊藤 次郎 企画部企画政策課主事 大桑 智子</p>
議事	<p>1 G I G Aスクール構想の実現に向けたICT環境の整備について（報告） 2 地域と学校が相互に連携・協働する地域学校協働活動について（報告） 3 教職員の働き方改革について（意見交換）</p>
会議資料	<p>1 G I G Aスクール構想の実現に向けたICT環境の整備 2-1 地域と学校が相互に連携・協働する地域学校協働活動 2-2 中学校の休日部活動の「地域部活動化」について 3 学校現場における「働き方改革」の必要性</p>
会議内容	<p>1 G I G Aスクール構想の実現に向けたICT環境の整備について 【説明者：学校教育課長】 整備・活用状況の報告や今後の課題について報告した。 【質疑・意見】 ・タブレットの運用が始まったことに伴い、発生した作業や修理時の対応状況はいかがか。 ⇒年度切替時には、移動に伴う処理など当初の想定より時間を要したが、次年度以降は今年度から配置されたICT支援員を活用し、作業時間の短縮に努めたい。修理時は各学校にある予備で対応できている。（教育委員会） 【委員の主な意見】</p>

- ・次年度以降は、持ち帰りの増加や不具合等により修理件数の増加が見込まれるため、しっかり経過を見て対応いただきたい。
- ・どの家庭にも Wi-Fi 設備があるとは限らず、費用も発生する。そのことを考慮して環境整備に取り組んでいただきたい。
- ・活動の状況を踏まえて、ICT支援員の妥当性を検討し、また、先生方の要望を聞き入れて、より良い支援員・活動になるように繋げていただきたいと思う。
- ・タブレットが導入されたことで、今まで現実的ではなかった手法が実現できるようになり、非常に子どもたちの可能性が広がったと学校訪問を通じて実感した。(教育長)
- ・ICT指導主事においても、学校の課題を分析し、教員にどのような力が必要なのか、研究を重ねる必要があると考える。(教育長)
- ・工事完了予定の大型提示装置を活用した今後のGIGAスクール構想の実現に期待したい。(教育長)
- ・スマホと同様に様々な弊害もあるため、その点を踏まえて教育いただき、リテラシーやルール・マナーなども徹底していただきたい。(市長)

2 地域と学校が相互に連携・協働する地域学校協働活動について

【説明者：生涯学習課長・学校教育課長】

地域学校協働活動の概要や現状と今後および中学校の休日部活動の「地域部活動化」の検討状況を報告した。

【質疑・意見】

- ・放課後子ども教室は、どのような形での実施を目指しているのか。
⇒児童クラブの加入に関わらず全員が参加できる仕組みではあるが、子どもたちの需要や保護者の要望を踏まえ、検討していく。(教育委員会)
- 【委員の主な意見】
- ・中学校の地域部活動化で想定しているか。
⇒蒲郡市全体を一つの地域として、部活動ごとに人数や活動場所を考慮して検討していく。(教育委員会)
- ・地域協働活動での先生方の関与は怎么样了なっているのか。
⇒同じ活動であっても、授業以外の夕方や休日に行うと「放課後子ども教室」、授業の中で行うと「協働活動」となる。活動内容に応じて、学校と一緒に取り組む場合や地域だけで運営する場合の両方が考えられる。(教育委員会)
- ・各地域と学校ごとに協力体制に差があると思われる。良い地域を参考に全体の底上げをして、協力し合える状態になってほしい。
- ・成功事例に基づいて進めたいと思うとともに、例えば保護者間でも非常に強く良いネットワークが築かれつつあるので、そういったものを活用していただきたい。
- ・低学年が中心になると予想されているが、高学年への対応も考えていく必要がある。また、中学校にも言えるが、地域の方が得意なものだけでなく、子どもたちの希望も踏まえて考えたい。(市長)

3 教職員の働き方改革について

【説明者：学校教育課長】

蒲郡市の現状や対策と課題について説明した。

【質疑・意見】

- ・教職員の免許制度の廃止は、講師不足の問題にも効果があるかと考えるがいかがか。
⇒正式に廃止されると決まっていないが、市として県に引き続き要望していく。(教育委員会)

【委員の主な意見】

- ・業務上指導を受ける際に、人によってはプレッシャーを感じてしまう場合がある。そういう状況においても、一人で抱え込んでしまわないよう相談体制の充実も今後必要になると考える。
- ・先生方が自分の時間を充実させ、様々な経験を積むことで、質の高い教育に繋がっていくと思う。
- ・在校時間と日報等で実際の業務量を把握して、個別に対応する必要があると考える。
- ・部活動には授業では得られない充実感があつたと思う。部活動廃止により生まれた時間を充実させていくことに努めていただきたい。
- ・個人情報に関する仕事は持ち帰れないとしても、授業研究など持ち帰りできる仕事もあり、在校時間と勤務時間が一致しない場合もある。先生方への仕事の取り組み方の統一・指導が必要ではないかと考える。
- ・教職員の安全衛生管理は一番の課題である。市として、体制づくりに努めていきたい。(教育長)
- ・市と教育委員会が同じ方向性のもと、みんなで支えていくためにも、このような対話の場を大事にしていきたいと改めて思った。(市長)